

## 第9回郡山市子ども・子育て会議 会議録

【日時】平成26年9月1日(月)午後1時30分～午後3時

【場所】郡山市こども総合支援センター(ニコニコこども館)3階 研修室

### 【次第】1 開会

#### 2 議事

##### (1) 確保方策について

①幼稚園・保育所等の確保方策について

②地域の子ども・子育て支援事業の確保方策について

##### (2) その他

①子ども条例について

②留守家庭児童会(児童クラブ)の開設基準人数の見直しについて(案)

#### 3 その他

#### 4 閉会

### 【出席委員】16名(敬称略)

吾妻 利雄	猪越 京子	遠藤 重子	大川原 順一
菊池 信太郎	源後 正能	相楽 正人	佐藤 広美
鈴木 宮子	瀧田 勉	滝田 良子	平栗 裕治
保住 キミ	峯 淳子	安田 洋子	横山 智恵

### 【欠席委員】3名(敬称略)

遠藤 智子	大和田 新	太神 和廣
-------	-------	-------

### 【事務局職員】16名

こども部 : 渡辺善信(こども部長)、鈴木武泰(部次長)

野口雅世子(部次長兼こども支援課長)

こども未来課: 三瓶克宏(課長)、笹川幸江(課長補佐)、古川誠(こども企画係長)

伊東惣市(青少年育成係長)、西名華奈子(こども企画係主任)

こども支援課: 伊藤克也(課長補佐)、助川由紀江(子育て支援係長)

山田てるみ(母子保健係長)、鈴木薫(こども家庭相談センター所長)

こども育成課: 寺山佳世子(課長)、矢部俊明(課長補佐)

佐久間由三子(認定給付係長)、伊藤博(保育所係長)

## 【配布資料】

資料1 幼稚園・保育所等の確保方策について

資料1別紙 幼稚園・保育所等の確保方策について

資料2 地域の子ども・子育て支援事業の確保方策について

資料3 子ども条例について

※参考 札幌市資料

- ・条例概要「子どもがきらりと輝くまちに」
- ・「子どもの権利に関する推進計画 概要版」
- ・アシストセンターちらし「子どものこと一緒に考えましょう！！」

資料4 留守家庭児童会（児童クラブ）の開設基準人数の見直しについて（案）

## 1 開会

（笹川補佐）定刻となりましたので、「第9回郡山市子ども・子育て会議」を開催いたします。

本日御都合により、遠藤智子様、大和田新様、太神和廣様が欠席されておりますことを御報告いたします。

なお、本日の欠席者は3名であり、出席者は過半数を超えておりますので、郡山市子ども・子育て会議条例第5条第2項により、本会議は成立しておりますことを御報告いたします。

傍聴を希望されている方が5名おりますが、郡山市附属機関等の会議の公開に関する要領の規定により会長が許可することとなっておりますが、いかがでしょうか。

（滝田会長）許可します。

## 2 議事

（笹川補佐）本会議の議長につきましては、郡山市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定により、会長が務めることとなっておりますので、これから先の会議の進行につきましては、滝田会長にお願いいたします。

（滝田会長）それでは、ただいまから「第9回郡山市子ども・子育て会議」の議事に入ります。

議事の1番「確保方策について」、資料毎に事務局の説明をお願いします。

【事務局（西名主任）、資料1「幼稚園・保育所等の確保方策について」、資料1別紙「幼稚園・保育所等の確保方策について」により説明】

（平栗裕治委員）幼稚園について、新制度への本格的な移行は公定価格が満額となる29年

度になる。27、28年度については、国の財源確保が不確実であるため各施設とも移行することが困難である。こういった事情を御理解いただきたい。

**(吾妻利雄委員)** 保育所については、27年4月から新制度下での運営となる。

**(鈴木宮子委員)** 子どもを預ける施設を探すことが難しいため、仕事を始めることができないという話を聞く。母親が仕事を始めたい時に始められるように施設が整備されていくことが望まれる。

【事務局（伊東係長、伊藤係長、野口次長、助川係長、山田係長、鈴木所長）、資料2「地域の子ども・子育て支援事業の確保方策について」により説明】

#### ○放課後児童健全育成事業

**(吾妻利雄委員)** 現在、幼稚園や認可外保育施設で実施されている児童クラブは確保方策に含まれているか。

**(伊東係長)** 民間の児童クラブの利用実態を把握しきれていない。

**(三瓶課長)** 開設基準を満たす民間施設については、活用を検討していきたい。利用実態については、再度精査していく。

**(瀧田勉委員)** 早急な実施が望まれる。

**(三瓶課長)** 1年目で利用希望のある全ての児童を受け入れることは現実には難しい。また、利用希望と実態が合わないこともある。

**(平栗裕治委員)** 高学年の児童は、幼稚園での児童クラブは馴染まないようである。学校での利用を検討した方がよい。

**(三瓶課長)** 年齢に合った供給方策も検討する。

#### ○一時預かり事業（幼稚園在園児を対象）

**(平栗裕治委員)** 西部地域において、27年度以降の量の見込みと確保方策が25年度実績より下回っている。再度検討いただきたい。

**(佐久間係長)** 検討する。

#### ○子育て短期支援事業

**(源後正能委員)** 5年間、事業の実施について検討するのか。

**(野口次長)** ニーズ調査では、現在本市で実施されていないこともあり、ニーズがないという結果である。ただし、現場では必要とされる場合もあると聞く。他市においては児童養護施設等で実施している場合が多いが、既存施設の活用も含め検討していく。

#### ○子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

**(大川原順一委員)** 事業の内容、周知方法について説明いただきたい。

(助川係長)「子どもを預かって欲しい方」と「子どもを預かることができる方」がそれぞれ会員となり、相互に育児について助け合う会員組織である。周知については、広報こおりやま、市ホームページ、子育てハンドブック等で行っている。

(大川原順一委員) この事業は、子どもを持ち働く女性にとって役に立つと思われる。もっと広く周知されることが望まれる。

#### ○病児・病後児保育事業

(菊池信太郎委員) 感染症の子どもを預かる場合、他の子どもと部屋を分ける必要があり、定員数の受入れをできないことがある。また、季節によって利用者数の増減がある。

(矢部補佐) 利用実績や実態を踏まえた委託料を検討する。

#### ○養育支援訪問事業

(猪越京子委員) 育児家庭訪問事業の量の見込みがほぼ横ばいであるが、利用の増加は考えられないのか。

(鈴木所長) 今後の児童数減少も考慮して、横ばいの見込みとしたところである。

(滝田会長) 次に議事の3番「その他」について何かございますか。

【事務局(西名主任)、資料3「子ども条例について」により説明】

【質問・意見なし】

【事務局(伊東係長)、資料4「留守家庭児童会(児童クラブ)の開設基準人数の見直しについて(案)」により説明】

【質問・意見なし】

### 3 その他

(寺山課長) 現在御審議いただいている事業計画に基づき保育所や小規模保育等を今後整備していくこととなるが、北部地域において待機児童数が多いため、緊急の対応として10月1日から定員60人の認可保育所を1施設開所する。

(笹川補佐) 第10回会議は、9月24日(水)午後1時30分から予定しております。後日開催場所も含めて正式な開催通知を発送します。

### 4 閉会

(笹川補佐) それでは、以上を持ちまして、第9回郡山市子ども・子育て会議を終了します。